

千葉工場へ運ばれてきた原料は、原料庫と呼ばれる専用の倉庫に保管されます。

START!



1. 原料庫に入れる

無添加化粧品を作るために重要な事は、製造工程で、塵や雑菌を持ち込まない事。製品は「クリーンルーム」で大切に作られます。クリーンルームの中に入るには、四つの部屋を通過して着替えをし、外部からの塵や雑菌の侵入をシャットアウトしています。

2. 着替え



3. 秤量 (原料を量る)

製造は原料を量るところから始まります。できるだけ正確に量るために、機械だけではなく、人の手でも量ります。ファンケルの工場では、最新技術を駆使しながらも、人の手や目の確かさを大切にしています。



4. 調製 (原料を溶かす・混ぜ合わせる)

量った原料を、製造釜へと投入し、混ぜ合わせていきます。製造釜で作られた化粧品は外気に触れないように、容器に充填するまでをパイプでつなげています。これを「クローズドシステム」といいます。パイプは、使用前と使用後に熱水蒸気を通すため、いつも清潔です。



クローズドシステム



秤量



製造釜



5. ストレージタンク (貯蔵・検査)

隣の調製で製造した製品を一旦貯蔵しておくところがストレージタンクです。異物が混入していないか、ニオイや硬さ、弱酸性であるかどうかなどさまざまな検査を行い、合格した場合のみ充填の工程に進みます。



ストレージタンク

ファンケル製品ができるまで



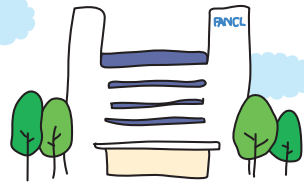
せいひん



安心

安全

やさしさ



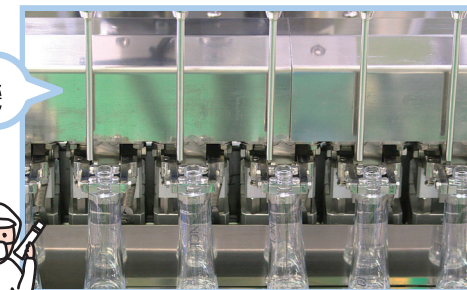
包装



8. 包装

充填機

容器に印刷のカケや汚れがないか、人の目でチェック!



7. 検査

(中身を詰める)

検査は、全ての製品に対して人の手と目を使って行われます。正しい量が充填されているか、容器の上下・側面に印刷の欠けや汚れがないか、万一にも異物が混入していないかなどを一つひとつチェックしていきます。お客様に自信を持ってお届けできる製品であることを常に意識して作業を行っています。

9. 物流センター

こうして出来上がった製品は、工場から物流センターに運ばれ、人の手によって大切にお客様の元へ届けられます。

製品を包装していく作業でも、作業員は帽子・手袋を着用して、清潔な状態をキープしています。熟練した作業員が製品に異常がないか、検査をしながら次々と包装をしていきます。包装が済んだ製品は、一つひとつ製造年月日を印字します。化粧品には製造年月日の明示の義務はありませんが、お客様にいつでもフレッシュな物を使っていたきたいという、ファンケルの姿勢の表れです。



GOAL!